

# 結果の概要

## 1 結婚の状況

### (1) 第1回調査時の独身者の結婚状況

第1回調査時に独身であった者のこの6年間の結婚の状況をみると、男 25.6%、女 40.6%が結婚している。また、第1回に結婚意欲があった者の方が結婚した割合が高い

第1回調査(平成24年)時に独身であった者のうち、この6年間で結婚した割合は、男 25.6%、女 40.6%であり、独身者の割合は、男 74.4%、女 59.4%となっている(表1)。

また、第1回の結婚意欲別にこの6年間の結婚の状況をみると、男女とも、「結婚意欲あり」と答えた者の方が「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」と答えた者より、この6年間で結婚した割合が高くなっている(図1)。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの6年間の結婚の状況

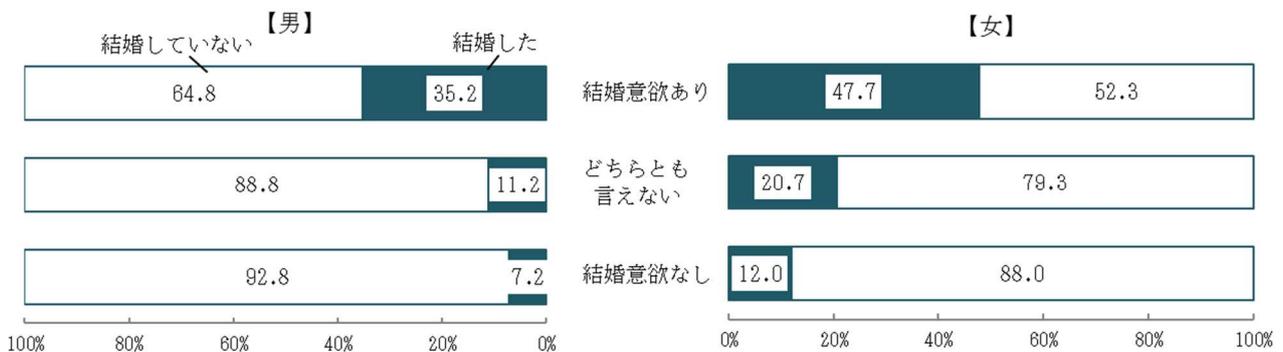
性 第1回調査の年齢階級 (第7回調査の年齢階級)	総数	結婚した <sup>3)</sup>								結婚して いない
		総数	第1回から 第2回間に 結 婚	第2回から 第3回間に 結 婚	第3回から 第4回間に 結 婚	第4回から 第5回間に 結 婚	第5回から 第6回間に 結 婚	第6回から 第7回間に 結 婚		
男	( 100.0)	100.0	25.6	4.2	3.9	4.6	4.0	4.4	4.6	74.4
20～24歳 (26～30歳)	( 48.0)	100.0	19.7	0.8	2.3	3.3	3.3	5.0	5.0	80.3
25～29歳 (31～35歳)	( 52.0)	100.0	31.1	7.3	5.3	5.8	4.6	3.9	4.2	68.9
女	( 100.0)	100.0	40.6	6.9	7.7	7.0	6.7	6.4	5.9	59.4
20～24歳 (26～30歳)	( 49.5)	100.0	35.7	3.5	5.3	5.6	6.7	7.2	7.4	64.3
25～29歳 (31～35歳)	( 50.5)	100.0	45.4	10.3	10.1	8.3	6.7	5.6	4.5	54.6

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この6年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、結婚意欲別にみたこの6年間の結婚の状況



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)結婚意欲は第1回調査で、「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この6年間に、結婚した後離婚した者を含む。

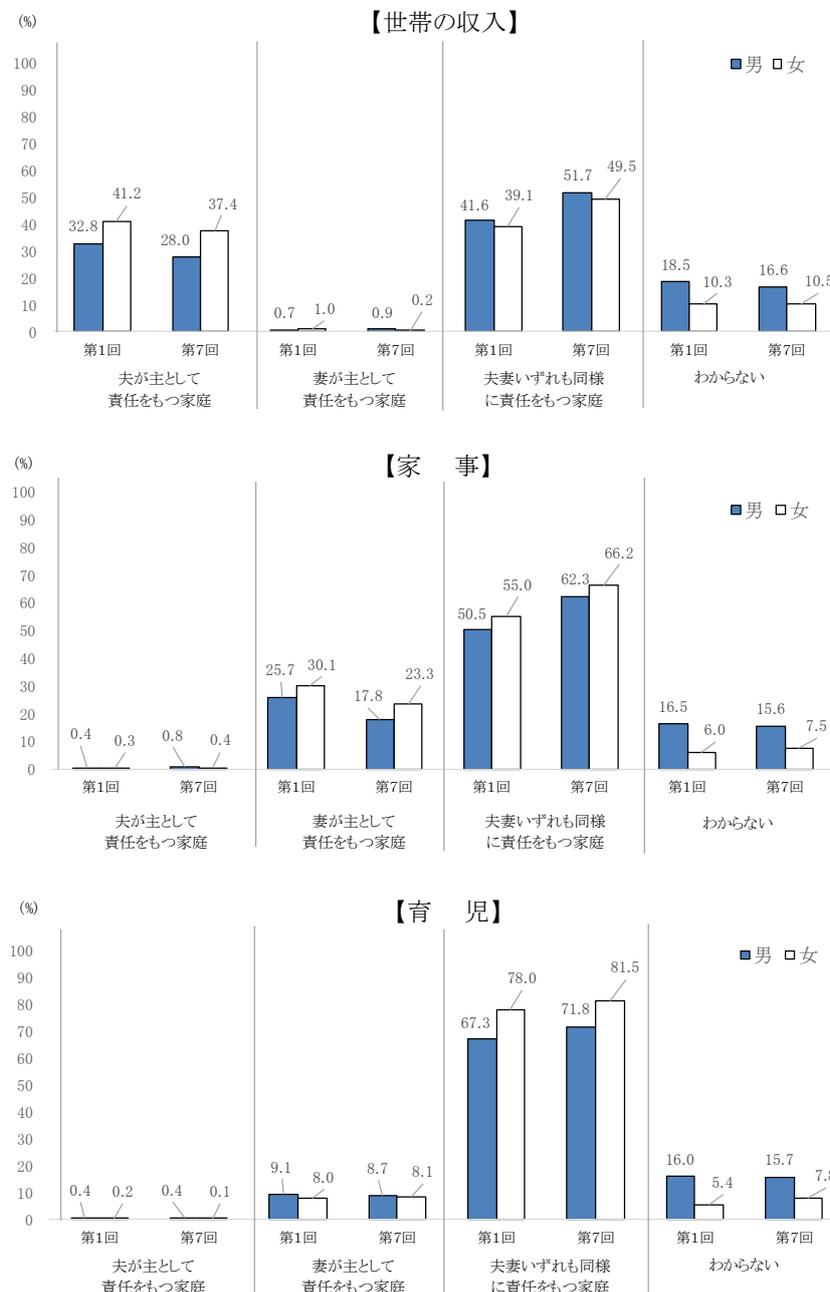
## (2) 独身者の家庭観の変化

独身者の第7回調査の家庭観をみると、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合が、「世帯の収入」で男女とも約5割、「家事」で男女とも6割以上、「育児」で男7割、女8割となっている

第1回調査から第7回まで独身であった者の第7回の家庭観をみると、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合が、「世帯の収入」で男51.7%、女49.5%、「家事」で男62.3%、女66.2%、「育児」で男71.8%、女81.5%とすべてにおいて最も高くなっており、特に「育児」における割合が高くなっている。

また、第7回で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合を第1回と比較すると、男女とも「世帯の収入」「家事」「育児」のすべてで高くなっている。(図2)

図2 第1回調査から第7回調査まで独身であった者の性別にみた第1回調査と第7回調査の家庭観



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)家庭観は、第1回調査及び第7回調査の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している(「絶対したくない」は対象外)。

## 2 出生の状況

この6年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦 62.5%、第2回からの夫婦 86.9%、第3回からの夫婦 79.6%、第4回からの夫婦 71.3%、第5回からの夫婦 59.6%、第6回からの夫婦 27.2%となっている

この6年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）62.5%、第2回からの夫婦 86.9%、第3回からの夫婦 79.6%、第4回からの夫婦 71.3%、第5回からの夫婦 59.6%、第6回からの夫婦 27.2%となっている（表2）。

また、第1回からの夫婦について、第1回調査の子どもをもつ意欲別にこの6年間の出生の状況をみると、夫妻とも、子どもを「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「子どもは欲しくない」と答えた者より、この6年間に出生した割合が高くなっている（図3）。

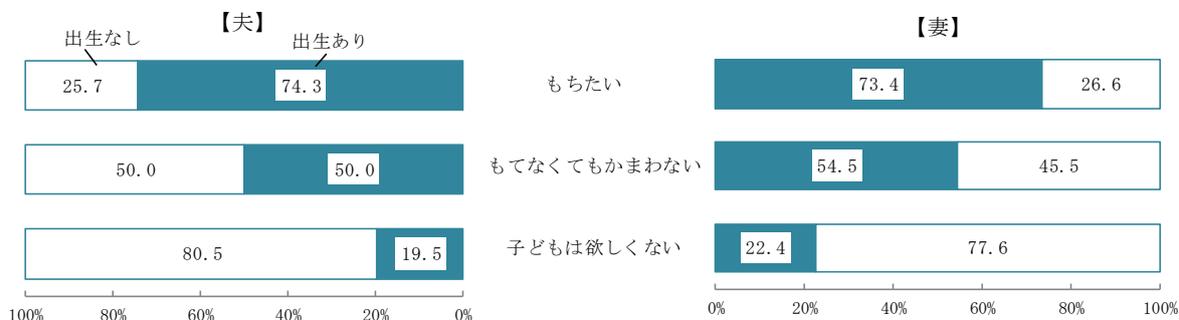
表2 夫婦におけるこの6年間の出生の状況

	総数	この6年間に出生あり																		この6年間に出生なし			
		第1回から第2回間に出生			第2回から第3回間に出生			第3回から第4回間に出生			第4回から第5回間に出生			第5回から第6回間に出生			第6回から第7回間に出生			総数	すでに子どもあり	子どもなし	
		総数	第1子	第2子以降																			
第1回からの夫婦	100.0	62.5	21.4	6.4	15.0	18.1	5.6	12.5	16.4	1.7	14.7	10.8	1.1	9.7	10.0	1.1	8.9	7.5	0.6	6.9	37.5	33.1	4.4
第2回からの夫婦	100.0	86.9	-	-	-	30.1	29.8	0.3	27.6	23.7	3.8	28.2	13.1	15.1	25.6	5.8	19.9	24.7	5.1	19.6	13.1	2.9	10.3
第3回からの夫婦	100.0	79.6	-	-	-	-	-	-	30.0	28.5	1.5	28.2	25.2	3.0	25.8	12.9	12.9	25.2	6.0	19.2	20.4	6.3	14.1
第4回からの夫婦	100.0	71.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.2	29.0	1.2	23.1	19.3	3.7	28.3	16.5	11.8	28.7	4.0	24.6
第5回からの夫婦	100.0	59.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	28.3	1.6	31.3	25.1	6.2	40.4	6.5	33.9
第6回からの夫婦	100.0	27.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27.2	25.2	2.0	72.8	9.3	63.5

(単位：%)

- 注： 1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。  
 3) 6年間で2人以上出生ありの場合は、出生のあった回それぞれに計上しているため重複計上となっており、各調査回の総数の合計とこの6年間に出生ありの総数は合わない。

図3 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの6年間の出生の状況



- 注： 1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 子どもをもつ意欲は第1回調査で、「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

### 3 就業の状況

#### (1) 結婚前後の就業状況の変化

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.4%。また、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.2%、女 18.1%と、女性の方が「仕事なし」に変化した割合が高い

第1回調査時に独身でこの6年間に結婚した者について、結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.4%、結婚前に「仕事あり」で結婚後に「仕事なし」に変化した割合は、男 0.2%、女 18.1%となっており、女性の方が男性より、「仕事なし」に変化した割合が高くなっている。

また、結婚前後とも「仕事あり」の者について、結婚前の就業形態別に結婚後の就業形態をみると、「正規の職員・従業員」から変化していない割合は、男 94.7%、女 74.5%となっており、男性の方が女性より結婚前後で変化していない割合が高くなっている。(表3)

表3 第1回調査時に独身でこの6年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

(単位:%)

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	仕事なし	
男	(100.0)	100.0	98.7	5.3	2.1	0.3	84.2	1.6	0.5	1.9	0.8	0.6
仕事あり	(96.6)	100.0	99.3	5.1	2.2	0.3	85.1	1.5	0.3	1.8	0.8	0.2
会社などの役員・自営業主	(4.3)	100.0	100.0	66.7	-	-	29.6	-	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(1.9)	100.0	100.0	-	83.3	-	16.7	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(78.7)	100.0	99.6	1.8	0.2	0.2	94.7	0.2	-	0.8	0.2	-
アルバイト・パート	(2.7)	100.0	100.0	5.9	-	-	41.2	41.2	-	5.9	5.9	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.5)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-
契約社員・嘱託	(3.7)	100.0	95.7	4.3	-	-	56.5	4.3	-	21.7	-	4.3
その他	(1.1)	100.0	100.0	-	-	-	42.9	-	-	-	42.9	-
仕事なし	(3.2)	100.0	80.0	10.0	-	-	55.0	5.0	5.0	5.0	-	15.0
女	(100.0)	100.0	79.5	1.9	1.3	0.1	54.9	10.9	2.9	6.2	0.8	19.9
仕事あり	(93.9)	100.0	81.4	1.9	1.2	0.1	57.6	10.5	2.6	6.0	0.8	18.1
会社などの役員・自営業主	(2.3)	100.0	80.6	32.3	-	-	38.7	9.7	-	-	-	16.1
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	(0.3)	100.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0
正規の職員・従業員	(66.6)	100.0	84.6	1.3	0.2	0.1	74.5	5.2	0.5	1.9	0.4	14.7
アルバイト・パート	(10.5)	100.0	63.6	0.7	1.4	-	7.7	46.2	2.8	4.9	-	36.4
労働者派遣事業所の派遣社員	(2.7)	100.0	78.4	2.7	-	-	8.1	8.1	51.4	5.4	-	21.6
契約社員・嘱託	(8.0)	100.0	78.0	0.9	1.8	-	11.9	11.0	5.5	43.1	2.8	22.0
その他	(0.7)	100.0	88.9	-	-	-	11.1	11.1	-	44.4	22.2	11.1
仕事なし	(5.0)	100.0	46.4	1.4	2.9	-	7.2	18.8	7.2	8.7	-	53.6

注: 1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2) 6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3) 結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含み。

(2) 独身女性の「結婚後の就業継続意欲」

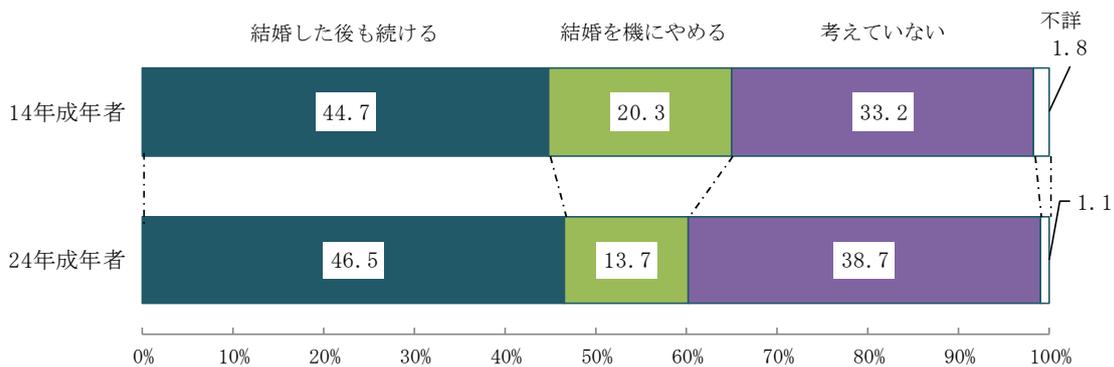
仕事がある独身女性が「結婚を機に（仕事を）やめる」と答えた割合は、10年前と比べ、低くなっており、会社等に勤めている独身女性の「結婚後の就業継続意欲」をみると、仕事と子育ての両立のための制度等がある者の方が「結婚した後も続ける」と答えた割合が高い

第1回調査から第7回まで独身であった女性（仕事あり）について、第7回の「結婚後の就業継続意欲」を14年成年者（第7回（平成20年））と比較すると、10年前に比べ、「結婚を機にやめる」と答えた割合が低くなっている（図4）。

また、会社等に勤めている第1回から第7回まで独身であった女性について、本人の就業形態で利用可能な仕事と子育ての両立のための制度等の有無別に、第7回の「結婚後の就業継続意欲」をみると、「育児休業制度」「短時間勤務制度」「育児のための勤務時間の短縮等」とも、「制度あり」の方が「制度なし」より、「結婚した後も続ける」と答えた割合が高くなっている（図5）。

図4 第1回調査から第7回調査まで独身であった女性（仕事あり）の第7回調査の「結婚後の就業継続意欲」

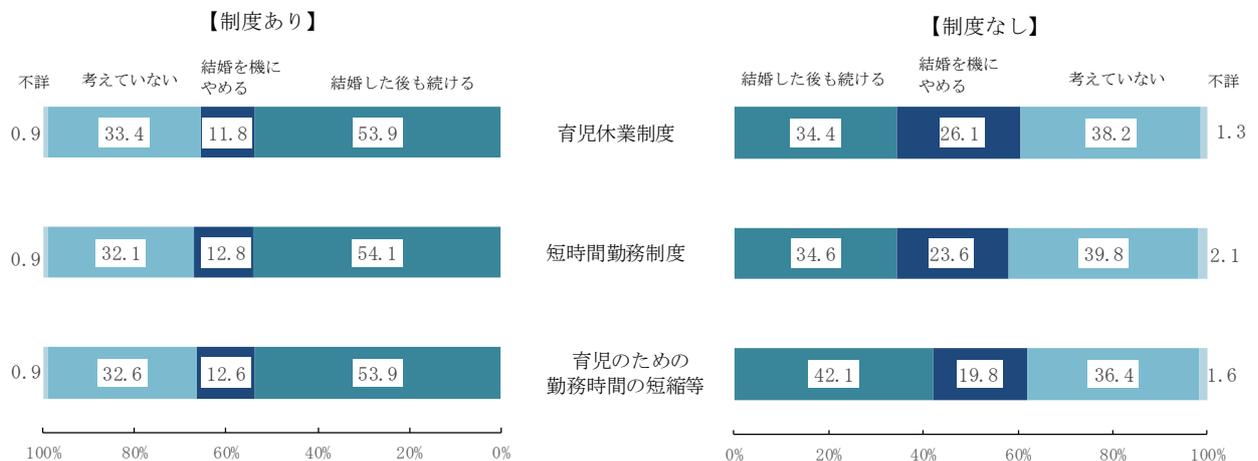
【14年成年者・24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「結婚後の就業継続意欲」は、第7回調査の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

図5 仕事と子育ての両立のための制度等の有無別にみた第1回調査から第7回調査まで独身であった女性で第7回調査時に会社等に勤めている者の「結婚後の就業継続意欲」



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)「結婚後の就業継続意欲」は、第7回調査の「結婚意欲」が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」と回答した者を集計している（「絶対したくない」は対象外）。

3)「制度あり」「制度なし」とは、本人の就業形態で利用可能な制度等があるかどうかをいう。

### (3) 妻の職場の育児休業制度の状況と出産後の就業状況

育児休業制度を「利用しやすい雰囲気がある」と答えた方が「利用しにくい雰囲気がある」より、出産後の「同一就業継続」の割合は高く、「利用しやすい雰囲気がある」と答えた割合は、10年前に比べ、高くなっている

この5年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻が会社等に勤めている）について、妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別に、出産後の妻の就業状況をみると、「制度あり」の方が「制度なし」より、出産後の「同一就業継続」の割合が高く、「制度あり」の場合でも、「利用しやすい雰囲気がある」方が「利用しにくい雰囲気がある」より、出産後の「同一就業継続」の割合が高くなっている（表4）。

また、「制度あり」について、育児休業制度の利用にあたっての雰囲気を14年成年者と比較すると、10年前に比べ、「利用しやすい雰囲気がある」と答えた割合が高くなっている（図6）。

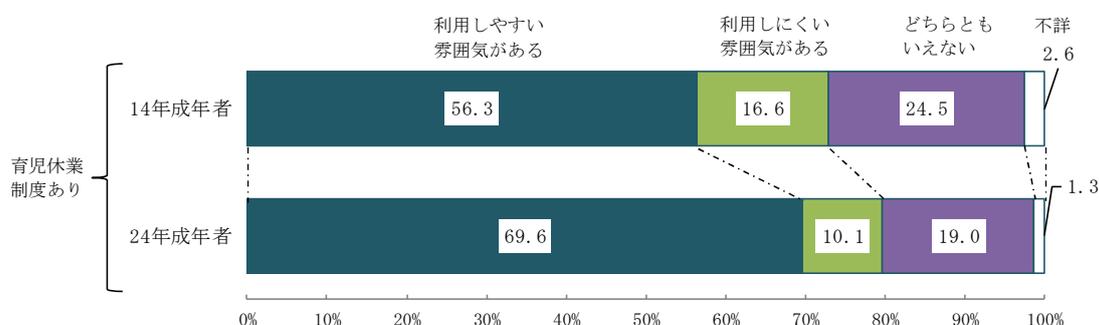
表4 この5年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻が会社等に勤めている）の出産前の妻の職場の育児休業制度の状況別にみた出産後の妻の就業状況

出産前の育児休業制度の有無と利用にあたっての雰囲気	出産後の妻の就業状況				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
総数	(100.0)	100.0	64.6	9.1	25.8
制度あり	(71.6)	100.0	80.4	8.2	10.6
利用しやすい雰囲気がある	(49.8)	100.0	84.4	5.7	8.7
利用しにくい雰囲気がある	(7.2)	100.0	73.7	15.8	10.5
どちらとも言えない	(13.6)	100.0	73.6	12.5	13.9
制度なし	(13.3)	100.0	14.3	5.7	80.0
制度があるかないかわからない	(14.0)	100.0	33.8	16.2	50.0

- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。  
 3) 「総数」には各不詳を含み、「制度あり」には利用にあたっての雰囲気不詳を含む。  
 4) 育児休業制度の「あり」「なし」とは、妻の就業形態で利用可能な育児休業制度があるかどうかをいう。

図6 この5年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻が会社等に勤めている）の出産前の妻の職場の育児休業制度の利用にあたっての雰囲気

【14年成年者・24年成年者】



- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。  
 2) 育児休業制度ありを100とした時の割合である。  
 3) 育児休業制度ありとは、妻の就業形態で育児休業制度が利用可能なことをいう。  
 4) 5年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。